会　　議　　録

会議の名称	令和元年度 第１回小川町地域公共交通活性化協議会			
開催日時	令和元年５月２３日（木） 開会時刻　午前１０時００分　　閉会時刻　午前１１時３５分			
開催場所	リリックおがわ　２階会議室			
出席者	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	尾崎　晴男	副会長	高窪　剛輔
	委員	矢島　富男	委員	根岸　甚高
	代理	木村　大輔	委員	小熊　和久
	委員	堀米　康史	委員	田端　健二
	代理	神宮　一雄	代理	赤羽　隆直
	委員	山口　勝士	委員	荒井　基明
	委員	海野　四郎	委員	小川　新一
	委員	安野　育男		
会議の議題	（１）平成３０年度事業報告及び決算報告について （２）監査報告 （３）令和元年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について （４）デマンドタクシーの利用状況について （５）令和元年度業務委託について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	－			
傍聴人の数	０名			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別紙のとおり			
事務局	都市政策課 都市政策担当			
議事の確定	確定年月日	令和元年　７月　１日		
	記名 押印	役職名 会長　　尾崎　晴男　　㊞		

発言者	発言の要旨
司会	**委員交代に伴う監査委員の選出** 今回、委員の交代がございましたのでご紹介させていただきます。第 10 号委員の小川町区長会会長が荒井基明様に代わられました。内田前区長会長が協議会の監査委員をされておりました関係で、改めて監査委員の選出を行いたいと存じます。なお、監査委員につきましては、協議会設置規約第 12 条第 2 項「協議会の監査委員は、委員の中から会長が指名し、協議会の会計監査を行う」となっております。いかがいたしましょうか。
尾崎会長	私の方からご指名させて頂くとのことだが、内田様のご後任として荒井様に代わられたとのことで、監査委員をお願いできればと思うがいかがか。
一同	異議なし。
尾崎会長	では、監査委員を荒井様にお願いしたい。
司会	ありがとうございました。それでは、荒井様に監査委員としてお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。
神宮委員 【JR 東日本】	**（１）平成３０年度事業報告及び決算報告（２）監査報告について** 事業報告の中で、JR 八高線小川町駅の内方線付き点状ブロックの完成報告を頂いた。昨年補助金を申請し、県・町・事業者の三位一体で進めたものである。 乗降客 3,000 名以上の駅は、整備する義務があるため事業を進めていた。 これまでの点状ブロックは、どちらがホームなのかわからず、転落事故があったが、その観点からも必要であるため整備した。ご理解、ご協力を得て整備できたことをこの場を借りてお礼申し上げたい。
尾崎会長	その他特に意見もないようなので、（１）平成３０年度事業報告及び決算報告（２）監査報告については、報告のとおり承認いただくことで良いか。
一同	⇒（1）～（2）について、原案のとおり承認。
山口委員 【小川町議会】	**（３）令和元年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について** デマンドタクシーは、様々な課題があるため住民も関心がある。また、路線バスも、今後の公共交通を考える上で大きな柱になる。これまでは住民の移動手段について検討してきたが、今後は交通手段を活かして町へ観光客等に来てもらう観点からも

発言者	発言の要旨
	議論していくとの認識で良いか。
事務局	路線バスの維持・充実に向けた検討は、引き続き取組む。具体的には、熊谷路線は１市２町（熊谷市、嵐山町、小川町）で利用促進を進める方向で取組む予定である。沿線にワイナリーが完成し、ワイン祭の際には国際十王交通さんにシャトルバスを運行していただいた。
尾崎会長	事務局の提案のとおり、承認いただくことで良いか。
一同	⇒（3）について、原案のとおり承認。
	（４）デマンドタクシーの利用状況について
田 端 委 員 【小川観光タクシー】	１年間運行をしてみて、当初は運転手も利用者も共に慣れておらず、行き違いも多かったが、回数を重ねるごとに仕組みも理解してきたというところである。 役場で周知はしていただいているのだが、受付時間外に利用の電話をかけてくる人がいる。また、電話の受付時に「デマンド利用で」という点、①登録番号②名前③乗る場所④降りる場所をスムーズに言っていただけないケースが多い。また、登録者証の提示がないため、一般のタクシー料金で利用してもらう人もいた。 天候によって左右されるところも多いが、好評で午前中を中心に待ち時間も発生している。またスクールゾーンに係る乗降場所については、朝夕の登下校の時間帯は許可車両以外進入禁止の問題がある。警察でデマンドタクシーを許可車両としていただけるかどうかはわからないが、乗客の中には体の不自由な方や高齢者等がいらっしゃるので検討をしていただきたい。
小川委員 【民児協議会】	民生委員が７０名いる中で、デマンドタクシーについて様々な意見が出ている。例えば、「配車に時間がかかる」「電話がつながらない」などの意見が出ている。そのため、「森林公園交通のタクシーをデマンドタクシーに活用できないか」といった意見も聞いている。全ての意見を取り入れることは困難であると思うが、こうした意見が出ていることを報告しておきたい。
事務局	全ての意見を取り入れることは困難であると思うが、利用者、事業者双方にとって良いデマンドタクシーを考えていきたい。
	（５）令和元年度業務委託について
一同	⇒事務局案のとおり、全委員承認。

発言者	発言の要旨
	（６）その他
小熊委員 【国際十王交通】	事務局から３点要望があった。熊谷路線の最終バス時間の繰り下げは、役場や民間企業の終業時間に合致するため、できるだけ設定させてもらおうと考えている。ただし、路線が長いため、熊谷駅着が遅くなり、働き方改革とのバランスを見ながら考える必要がある。ワイナリーの新バス停留所設置は、元々利用が少ない場所であるが､ワイン祭で３台貸し切りバスを運行した際には多くの利用があった為である。これは非常に良い兆候である。以前から酒蔵が３軒あり、それに加えて新たな施設ができたので、まちづくりに活かせる大きな要素になると考える。 当路線やグループ会社のバス車内にポスターの掲示も可能なので、どんどん PR するのが良い。バスロケーションシステムは、９月にラグビーワールドカップが熊谷市で開催される関係で市から要望があり、導入した。３月から試験運用を開始しており、６月から本格的に発信していく。利用者にとってはバスがどこを走っているのか一目瞭然のため、バスがいつ来るのか等の不満感が減る。こういった取組の周知を町にも協力していただきたい。今回の路線の件についてもスピーディーに対応いただき感謝しているので、今後も一体になって進めていきたいと考えている。
木村委員 【川越観光自動車】	ノンステップバスの導入について報告する。利用促進策として、今年度、パークヒル路線にノンステップバスを３両導入する。理由は、病院を多く持つ路線であるため優先的に導入することに至った。また、ノンステップバスの導入要望が以前から多かったと聞いている。メーカーの説明では、車両には最新鋭の運転者異常時対応システムが搭載されるそうである。来年の３月ごろ運行が開始される予定である。小川町は、衣食住から世界遺産まで資源が揃っている路線と考えているため、利用促進・利便性向上に活かされることを願って導入する。
山口委員 【小川町議会】	バス事業者に協力いただき、みどりが丘まつりなどのイベント時に、バスの乗り方教室を開催してきた実績がある。これを更に発展させて警察等とも連携したものを実施していこうと意見が出ていたが、ぜひ取組んでいただきたい。また、ハイキングに訪れる方が非常に多い実績がある中で、鉄道事業者さんがその点をどのように捉えているかお聞きしたい。
赤羽委員 【東武鉄道】	ハイキングは、一定規模のイベントを開催して、電車でお越しいただくことを考えている。外秩父七峰縦走ハイキング大会は、東上線の中で最も規模が大きく、規模が大きいとコスト過多になるため、近年は有料制にしている。そのため、利用者数はどうしても減少する傾向にある。当初の想定コストとのバランスが出てくるため、イベントを増やすことができないのが現状である。既存のハイキングを盛り上げることで利用者を増加させるのが現状の考え方になる。

発言者	発言の要旨
神宮委員 【JR 東日本】	ＪＲでは「駅からハイキング」を行っている。八高線では、明覚駅からのハイキングを実施している。前年ぐらいから計画し、各自治体の協力を得ながらコース設定し、年間計画を組んでいる。良いルートがあれば集客も望め、お互いに良い関係が築けるため、営業系部門と調整していただければ不可能ではない。
事務局	バスについては今年度も１０月２７日（日）の福祉まつり、または１１月３日（日）に開催される商工祭でバス車両の展示、PR ができるか検討中である。
堀米委員 【イーグルバス】	東秩父村の和紙の里から天空のポピーの会場までシャトルバスを運行させている。昨年は５日間で８００名以上の利用者がいた。小川町駅から来訪する方が多く、小川町駅から和紙の里までの生活路線バスの利用者が増加したデータが出ている。 少子高齢化等で定期的な利用者が減少している中で、イベント関連で多くの方に利用いただけることは非常にありがたいと考えている。また、東武鉄道と連携しての健康ハイキングということで、和紙の里から天空のポピーの会場までコースを設定して実施している。朝の受付に合わせて臨時バスを運行しているが、今朝は座席が埋まるぐらいの利用があった。補助金を頂いている路線であるため、できるだけ公的負担を減らすためにもイベント等で利用者を増加させながら、全体の維持確保ができるよう自治体と協調して進めていきたい。
事務局	次回の協議会日程は未定だが、近くなったらご連絡させていただく。
	以上